

日置地域アグリ通信

ふぁー夢 in 日置

編集 鹿児島地域振興局農林水産部農政普及課（日置市駐在）
〒899-2501 日置市伊集院町下谷口 1960-1
TEL：099-273-3113 FAX：099-272-2040

日置地域の持続可能な農業と農村の活性化を目指して

鹿児島地域振興局農政普及課
課長 山内 徳廣

昨年10月に本県で開催した「全国農業担い手サミット」では、多くの皆様のご協力をいただき、盛大に無事終了することができました。ご支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

さて、令和8年度の普及活動が始まりました。

異常気象や原材料、燃料、人件費の高騰、担い手の高齢化による人手不足など、農業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。

このような中、本県では、食と農の県民条例に基づく基本方針の見直しを昨年度実施し、農家の所得向上と農村の活性化に必要な数値目標を定めるとともに、各種施策を展開しています。

鹿児島地域振興局農政普及課日置市駐在では、中山間地域における持続的な農業の推進と農村の活性化を図るため、以下の重点課題を設定し、普及活動を進めています。

- ・ 課題1 日置地域を支える担い手の育成
（1）経営体 （2）地域営農 （3）新規就農者、青年農業者
- ・ 課題2 普通作の生産安定
- ・ 課題3 地域の特性を生かした野菜産地づくり
- ・ 課題4 地域の特性を生かした花き産地づくり
- ・ 課題5 大将季を中心とした果樹産地（経営体）の育成
- ・ 課題6 販路拡大に向けた茶産地づくり
- ・ 課題7 畜産経営の発展支援

また、農村の所得向上を目指し、外国からの旅行者や都市に住む方々を農村に招いて様々な農村体験を提供する取組を、「都市近郊型お手軽旅行チャレンジ事業（地域振興推進事業：2年目）」として実施しています。

今年度も職員一同、一丸となって取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度の活動体制

	経営普及グループ				技術普及グループ				
氏名	水迫陽子	上之園健一	福重美久	遠嶋太志	田中慶	楠聡太	岡村友幸	市成広之	古川宗志郎
職名	技術主幹	技術専門員	技術主査	農業技師	参事付	技術主査	技術主査	技術主査	農業技師
担当	経営体 地域営農	経営体	作物 地域営農	新規就農	野菜	果樹	畜産	野菜	茶 青年農業者

・・・よろしくお願いします。

新規就農者の就農意欲の向上を図るとともに、関係支援機関、指導農業士、農業青年クラブ等の役割や地域の支援体制への理解を促すため、「日置地区新規就農者励ましの会」を開催しています。

R8 日置地区新規就農者励ましの会

6月12日、日置庁舎において、令和7年度に新規就農した3人（日置市2人、いちき串木野市1人）を対象に「日置地域新規就農者励ましの会」を開催しました。参加した2人が営農への意気込みを表明し、いちき串木野市長、日置市副市長、指導農業士会長、農業青年クラブ他先輩農業者らが激励の言葉を贈りました。祝福された新規就農者は、地域農業の担い手として決意を新たにしていました。地域全体で共に農業の未来を築くことの重要性が示された一日となりました。



R8年度就農された3名の抱負を聞いてみました。

- ・農薬や肥料の使用を抑えた水稻栽培に取り組み、地球環境に優しい農業を行いたい。
- ・ソリダゴ栽培技術の研鑽をはかり、切り花本数を増やして、経営の安定を図りたい。
- ・地場産の果樹販売で地域農業を盛り上げたい。

何かわからなかったらこの人に聞いて！（頼れる先輩たち）

「日置地区指導農業士会」は普及指導員と連携しながら、部門ごとの研修会を開催し、新規就農者や青年農業者の皆さんが抱える技術的な課題の解決をお手伝いしています。また、技術面だけでなく、経営や農村生活での不安や悩みについても、いつでも気軽に相談できる「頼れる先輩」として現在14名の指導農業士が活動しています。

「日置地区農業青年クラブ連絡協議会」は将来の農業を支える20代～30代前半の若い農業者が中心となって組織された団体です。日置地区では、現在8名の青年農業者が活動しています。メンバーそれぞれが将来の経営者や地域リーダーとして必要な基礎知識の習得に努め、消費者や他クラブとの交流を深めるため積極的なプロジェクト活動を展開しています。日置地区の若手農業者が互いに刺激し合い、高め合うことで、「国内や県内でしっかりと貢献できる逞しい農業者」へと成長することを目指しています。

「あぐりロマンひおき」は平成18年に設立された日置地域の女性農業経営士および農村女性ホームリーダーで構成される組織です。主な活動内容はプロジェクト活動の実践、研修・交流会の開催などで、これらの活動を通じ、新規就農者の支援、農業経営の発展および地域農業の振興に向けて多彩な活動を展開しています。

農政普及課では、農業経営や地域農業に意欲的に参画する女性農業者を応援しています。農業の振興や農村の活性化を担うリーダーの育成に向けて、研修会の開催をはじめ、新技術の導入など先進的な取り組みを幅広く支援しています。

あぐりロマンひおき研修会（令和8年7月2日）



講演：「輝く女性農業者への応援メッセージ」
講師：南日本放送 MBC タレント 柴 さとみ 氏



視察研修：「スマート農業最前線～いま地域では～」
訪問先：株式会社エコナーセリー

【あぐりロマンひおきとは】

日置地域の女性農業経営士及び農村女性ホームリーダーで構成されている組織で、平成18年に設立しました。会員相互のネットワークづくりを行いながら、プロジェクト活動の実践や研修・交流会等を積極的に実施しています。また、地域の方針決定の場への参画を促進し、農業経営の発展及び地域農業の振興に貢献できるよう活動しています。

【女性農業経営士とは】

わが家の農業経営や地域課題の解決に主体的に取り組み、発言力や実行力を備えたリーダーとして、県知事から認定された女性農業者です。地域のリーダー育成や、若手のロールモデルとして活躍しており、日置地域では27名が認定されています。

役割と具体的活動

- ・ 農業経営や労働管理・農家生活管理等の実践
- ・ 女性、後継者育成のための助言指導
- ・ 農村女性リーダーとしての提言活動、各種委員等への登用促進

牛の健康を守るため、そして農家の経営を守り美味しい牛肉や牛乳を安定して食卓に届けるために、暑熱対策は一刻も欠かせない必須の取り組みとなっています。

牛の暑熱対策 —5つのポイント—

- 1 日陰の確保
牛は直射日光に弱いため、日陰を十分に確保することが重要です。屋外飼育の場合は樹木や遮光ネット、シェルターを設置し、屋内飼育でも換気や日よけを工夫しましょう。
- 2 水の確保
清潔で冷たい飲み水を常に十分に飲める環境を整えます。高温時は飲水量が増加するため、水圧や給水器の清掃状況など、水の量と質を徹底して管理する必要があります。
- 3 換気と送風・冷却装置の活用
牛舎の換気を徹底し、空気の滞留を防ぎます。大型扇風機による送風や細霧（ミスト）スプリンクラーなどの冷却装置を効果的に活用することで、牛の体感温度を下げ、体温上昇を防ぎます。
- 4 給餌時間と飼料の工夫
採食による熱産生を抑えるため、暑い中を避け、涼しい朝や夕方から夜間にかけて重点的に給餌します。また、嗜好性が高く、消化吸收の良い高栄養な飼料を給与し、食欲低下による栄養不足を防ぎます。
- 5 観察の強化と早期対応（ストレス軽減）
暑熱ストレスは乳量低下や繁殖障害、免疫力低下を招きます。牛の呼吸（呼吸が荒くなってないか）や行動を注意深く観察し、異変があれば早期に対処することが極めて重要です。

表1 牛の適温域と生産環境温度

	適温域（℃）	生産環境限界温度（℃）	
		低温	高温
哺乳子牛	13～25	5	32
育成牛	4～20	-10	32
繁殖牛	10～25	-10	30
肥育牛	15～25	5	30

表2 暑熱対策チェックリスト

1. 日陰の確保	木陰、シェルター、日除けネット設置
2. 水の確保	自動給水器の設置、清潔な水を多量に用意
3. 換気・冷却装置	扇風機、ミストクーラー、換気口の設置
4. 飼料調整	涼しい時間帯の給餌、消化の良い飼料の選択
5. 健康管理	体温測定、飲料水や行動の観察、獣医師の相談